

多様な人材の育成・活用

研究者プロフィール

- ・ 情報学部データサイエンス学科 准教授 杉山佳子
- ・ 専門分野：経営組織論、人的資源管理、経営財務
- ・ 研究分野：コーポレート・ガバナンス、サステナビリティ経営、人材育成
- ・ 所属学会：人材育成学会、組織学会、日本経営学会、証券経済学会
- ・ 主な経歴：元（株）東京証券取引所勤務、上智大学非常勤講師
東北大学大学院経済学研究科博士研究員・客員研究員
- ・ 著書：『大企業の内部昇進女性役員 一企業特性と職務経験からのアプローチ』

研究内容

少子高齢化が進展する日本にあって、企業が持続的に存続・成長をするためには、これまで少なからず非コア人材とされてきた女性人材や、現在急速に発展を遂げているIT/AIに関する高度な専門知識を有する、外国人を含む高度専門人材の活用が必要となってきている。このことは一従業員としてのみならず、マネジメント、経営層の人材を通じた課題である。

他方でこれらの人材はこれまで、従業員としては必ずしも終身（長期）雇用や、転勤・長時間残業を条件とする働き方に適する人材ではなく、従来の日本的経営の特徴からは経営幹部としての活用が難しい側面もあった。

国内企業の外部環境の変化をふまえ、企業価値が持続的に向上するための多様なタレント・マネジメントはいかにあるべきかについて、前職で携わった資本市場からの視点をふまえた研究を現在、行っている。

関連キーワード

コーポレート・ガバナンス、サステナビリティ、コア人材、高度専門（IT・外国）人材、ジェンダー・ダイバーシティ、タレント・マネジメント

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

企業活動に関わる様々な多様性の課題に対して、企業としてどのように取り組むべきか（組織内での取り組み、特に多様な人材のコア人材としての育成・活用、多様な人材の活用を企業価値に繋げる取り組み・外部への情報発信を含めて）知見を提供することを通じて、連携を行うことが考えられる。

特に地方は少子高齢化の進展が急速に進む現状があり、人材不足の課題に対し、IT/AI技術の活用（これらの専門知識を有する人材の活用）も含めて、地方創生に関する連携を行うことが考えうる。

研究者への連絡先

- ・ 産学連携推進センター
Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話 022-354-8122